

【施策評価調査】

施策名	4-3-2	地域資源を活かした観光	111	施策目的	町の玄関口にあたるJR宝積寺駅等を活用し、高根沢町の知名度アップのためのPRをし、観光客入り込み数の増大を図り、経済効果に結び付ける。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部産業課	担当 リーダー	商工業 石川正佳	施策内容	農家や観光団体と商業者が連携し、町内最大の観光資源「元気あつむら」を拠点に協調体制を強化して集客イベントや消費者サービスを展開し、周辺地域からの誘客を図ります。またサテライトシステムのな方策を講じて、町内の特徴ある観光農園等へ誘客し、消費拡大や活性化を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	町制50周年記念式典に合わせ、JR宝積寺駅東口が平成20年4月12日オープンし、本格的に賑わい創出の基盤ができてきた。高根沢町経済懇話会が中心となり、町PR事業として、宇都宮市において、知名度アップのため高根沢町そのものを売り込むイベントを実施した。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：町内への年間観光客入込数(人)	平成16年度実績	計画	1,327,763人	1,353,797人	1,379,831人	1,405,865人	1,431,901人
	1,301,729人	実績	1,337,047人	1,371,070人	1,382,506人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,660,000	9,300,000	12,800,000		
	決算	10,660,000	9,300,000	12,515,657		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
観光振興費	当初 12,800,000	観光客入込数	B	観光協会の事業や、夏祭り盆踊り花火大会等を実施して、町のイメージアップや誘客を図るとともに、元気な町づくりや、ふるさとづくりの展開ができた。			
	決算 12,515,657	1,382,506人 / 1,379,831人		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	ちよっ蔵ホールについては、音楽に特化したことから、町の知名度アップに功を成している。元気あつむらや、直売所への誘客促進のため、企業との連携した取り組み等が行われ、参加者には好評であった。数多くのイベントを実施しているが、効果はあるのですが、数的に測定できていないのが問題である。	観光協会事業の内、投資効果のない事業等は見直しをかけてゆく。夏祭り盆踊り花火大会は、新たな祭りとして若い人々を中心に、新たな組織を立ち上げて実施するので、次年度は休止とする。誘客を図るためには、知名度の問題が大いにある。そのためにすること、例えば、本町ならではの特産品の開発や、定期的なイベントの開催など、民の力やアイデアをもって推進できるような環境をつくってゆく。
総合評価	■ 総合評価 ■ イベント(夏祭り盆踊り花火大会)のあり方について、見直しを行ったことを評価する。後期計画策定に向け、観光協会や各実行委員会等が行おうとする活動をどうサポートしていくのか、町と観光協会等と役割分担を決めた上で、具体的に何をやるのか、明確に提示すること。また、施策指標についても見直すこと。	